

診調組 技-2
19. 2. 14

中医協 診-1
18. 2. 3

医療技術の評価・再評価について

平成18年2月3日

診療報酬調査専門組織医療技術評価分科会
分科会長 吉田 英機

中医協基本問題小委員会において、診療報酬調査専門組織医療技術評価分科会において学会から提出される医療技術評価希望書に基づき、新規医療技術の評価及び既存医療技術の再評価を実施することとされ、昨年12月に中間報告を行ったところである。今般、医療技術の評価・再評価について最終的な検討結果を取りまとめたことから、当分科会における評価結果を報告する。

1 医療技術の評価・再評価の方法

- (1) 昨年2月から6月までに、学会から提出のあった医療技術の評価・再評価に係る要望を評価の対象とした。
- (2) 医療技術の評価・再評価に当たっては、1次評価及び2次評価の2段階とし、保険診療に精通した医学、歯学、薬学、看護学等の有識者で構成される以下の5分野のワーキンググループを設定し1次評価を行った。

WG1:精神、神経、眼科、耳鼻咽喉科、歯科系

WG2:呼吸器、循環器系

WG3:消化器、肝臓・胆道・膵臓、乳房系

WG4:泌尿器・男性生殖器、産婦人科・女性生殖器、筋骨格、皮膚・皮下組織系

WG5:内分泌・栄養・代謝、血液・造血器・免疫臓器、感染症、新生児・小児・先天性疾患系、救急、麻酔、放射線、調剤、看護、その他系

- (3) 1次評価で一定程度以上に評価された医療技術について、当分科会において、分野横断的なより幅広い観点から2次評価を行った。

2 評価結果

(1次評価結果)

医療技術評価・再評価希望 件数	619件 (重複分をカウントすると939件)
一次評価において引き続き 検討することが適当とされた 技術	249件
その他の技術(基本診療料 等の技術を含む)	370件

(2次評価結果)

① 保険適用する優先度が 高いと考えられる新規技 術(別紙1)	50件
② 再評価する優先度が高い と考えられる既存技術 (別紙2)	86件
③ その他の新規技術 (別紙3)	51件
④ その他の既存技術 (別紙4)	42件
⑤ 既に中医協基本問題小 委員会で検討された医療 技術及び高度先進医療 に係る医療技術 (別紙5、6)	20件
合計	249件

【(参考)平成16年度改定】

調査票届出件数	580件(重複あり)
保険導入された 技術	31件 (新規技術7件、既存技術等24件)